民報 あばしり
NO.1228
2019.7.28
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL四二一－四四五八
FAX四二一－四四五七

共産党7議席確保
野党共闘10選挙区勝利！
改憲勢力2／3を割る

参院選で「暮らしに希望を」と訴えた日本共産党は比例で1議席減の4議席、紙氏が当選しました。

また選挙区では、はたやま氏は落選。しかし、東京、埼玉、京都の3議席を勝ち取ることができました。ご支持やご協力いただき、誠にありがとうございました。

市民と野党の共闘が共通の政策を結び発展する中、野党は改選前の2選挙区から10選挙区へと躍進することができました。結果、改憲勢力は160議席となり、2／3以下に追い込むことができました。

来たる衆議院選挙では共闘をさらに発展させながら、日本共産党の躍進を勝ち取るために、引き続き奮闘して参りますので、皆さんのご支援ご協力をお願いいたします。

日本共産党の得票と得票率

全国

比例	今回	448万票	8.95%
	17年衆	440万票	7.90%
	16年	601万票	10.70%

網走市

比例	今回	1,787票	11.37%
	16年	1,846票	10.91%
選挙区	今回	1,703票	10.70%
	16年	1,626票	9.52%

届けなければいけない声があるから
「かけある記」

2019年7月24日
前衆議院議員　畠山和也

参議院選挙が終わりました。日本共産党は比例で一議席を減らしたものの、紙智子比例候補が4選を果たしました。北海道選挙区では多くのご支援を寄せていただきながら議席に届かず、申し訳ありませんでした。

今回ほど、くらしの切実な声が寄せられた選挙もありませんでした。「年金が少ないから70歳を過ぎても仕事をしている」「月17万円もの奨学金を借りている。返せるか不安」など、足を止めて演説を聞いてくださった方が多かったのも特徴的でした。

市民と野党が力を合わせる流れも強まりました。党の街頭演説で多くの方がマイクを握ってくださり、笑顔のエールが広がりました。全体として改憲勢力に3分の2の議席を占めさせなかったことは大きな成果です。共闘の流れは止まらないし、止めてはならない。この道こそ、新しい政治をひらく道！

寄せられた切実な願いを国政に届けるため、これまで以上に紙智子議員との連携も強めます。市民の運動を広げるためにも力を尽くしたい。くらしが大変でも誰にも相談できない、仕方ないと思ってあきらめている――こういう方に、日本共産党の姿がより見えるような活動をしていきたいのです。届けなければいけない声があるのです。

どんな結果でも、何度も立ち上がってきたのが日本共産党。私も新たな決意で前へ進みます。

畠山和也さん奮戦メモ！

参議院選挙は激しく戦われ、日本共産党は1議席減の7名が当選しましたが、はたやま和也さんは残念な結果でした。

次は衆議院選挙がまっていますが、参院選の野党共闘の教訓を生かして、小選挙区で野党共闘を実現して安倍政権を退陣に追い込む結果にしたいと思います。

今回の選挙で網走ではプラスターを掲げてメガホンで訴える活動を9日から12日間にわたって、朝と夕方の2回を村椿議員を中心の組と私を中心とした組に分かれて宣伝しました。まさしく雨の日も風の日も陽ざしがカンカンと照る中でも行いました。大変でしたが選挙の後半では「いつも宣伝していましたね」などの反応が返ってくるようになりました。

選挙戦を通じて感じたのは日常活動を強めること。特に、有権者に見える宣伝活動を強めることの重要性です。大変ですが、何か新しい活動をしたいと思案しています。

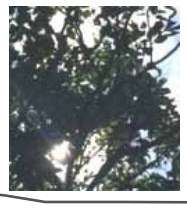
村ちゃんが駆ける

先日、網走川が少し緑色に濁っていたので水の様子を見に呼人浦キャンプ場に立ち寄ると少々アオコが発生しているようだ。頭上には木々の葉が旺盛に茂る。植物が花を咲かせたり実を結ぼうとする姿は生き生きとして素晴らしい。だから、人は花に魅了されるのか。

憲法13条には国民は幸福を追求する権利がある。恋愛や結婚、安心の老後生活を求めるのは自然のことではないか。憲法を生かし、幸せを追求できる世の中にしたい。

また、年金や医療など社会保障制度は憲法25条の生存権に基づくものだが、行政による制度は不十分であり、周知徹底も難しい。減免制度など利用するには申請が必要であり、知らなければ申請もできない。

しんぶん赤旗日曜版で制度を説明する「お役立ち特報」が過去に掲載され、それが本になった。その本を読んだり、市役所に出向いたりして、市民の皆さんからの相談事に応えられるようになりたい。



流氷

「怒」「怒」！15日、札幌市で安倍首相の参院選街頭演説で、ヤジを飛ばした人が警察官に排除された。「年金百年安心プランどうなった」のプラカードを掲げようとした女性を、警察官が取り囲み制止する場面をテレビが放映していた。おかしなことに、首相支持のプラカードを持っている人はお構いなしだった。憲法が保障する表現の自由の侵害に当たるのではないか！▼一昨年、安倍首相は街頭演説中、街頭のヤジに「こんな人たちに負けるわけにはいかない」と、反論し、問題となった。19日、道新の社説で、道警のヤジ排除について道警は公選法の違反の有無やプラカード掲示制止の理由について、調査中としている。疑念の重大性を認識し、市民に早急に説明責任を果たしてほしい。警察の政治的中立の欠如は、民主主義の根幹に関わる。真相究明は、首相始め政治の責任でもあると報じた。▼「雨ニモ、暑サニモマケズ」選挙中は宣伝カーなど、拡声器による宣伝は違法のため、プラスターを掲げ、メガホンなどで「増税やめよ」「年金減らすな」と朝夕松浦市議はさんぱちラーメン前、駒場ベーシック前、村椿議員は向陽の入口、川向エコーセンター前で12日間続けた。2人の顔は日に焼けて真っ黒。宣伝に参加された皆さん、ご苦労様でした。